

貨物運搬には馬車(大車、小なき者)支那馬車(大なるもの)に於て共に乗用と貨車用とを兼ね、及馬、騾、驢、駝を使用し、就中北路は多く駱駝を、南路は多く驢を用ゆ、塔爾巴哈臺附近のみは露國式四輪馬車を驅る者多し。

道路網及其狀況は、日誌中に細叙し在るも、今左に要を摘みて之を掲げん。

南北の二
大路

甘肅省より來る孔道は哈密(ハミ)に於て左右に分岐せり。即ち左は天山の南麓に沿ひ、西して吐魯番、喀什沙爾、庫車、阿克蘇を經、西南に折れて、葉爾羌、及喀什噶爾に到る之を南路とす。右は天山を越えて巴里坤に到り、北麓に竝ひて西し、省城烏魯木齊を過ぎ、精河より塔爾奇山路(タルチ)を越え伊犁に到る、之を北路とす。此の二路は新疆道路網の幹線にして、數多の支道を四方に出せり。而して哈密より巴里坤に到る山路は、險にして車を通せざる爲め、現今多くは吐魯番、烏魯木齊間の山道に由れり。又南路の瑪喇巴什、喀什噶爾間は、葉爾羌を經るものを本路とすれども、瑪喇巴什より直に喀什噶爾に到る好良の捷路(本路の約二分の一)ありて、之を樹窩子路(シューウオズ)と稱し、現今多くは之に由り、重要なる道路と爲れり。

南北二路は其幅三乃至五米突にして、間、十米突に及び、山道を除けば概ね平坦な